

条件英作文 No.2(町の案内)

L1 標準

Class _____ No. _____ Name _____

レベル:L1(都立共通・神奈川の共通問題レベル)	目標時間:20分	満点:100点(自己採点)
--------------------------	----------	---------------

あなたの町に旅行に来た外国人のベン(Ben)さんとの場面です。3つの課題すべてに英語で答え、次のページのチェックリストで自己採点しましょう。

課題1(30点) 道案内を2文で

Excuse me. Could you tell me the way to the post office?

条件

(1)下の地図を見て、道順を英語2文で案内する(あなたは★の場所にいます)

(2)go straight / turn などの道案内の言葉を使う

2文(道順→どこに見えるか)

課題2(30点) おすすめの場所を3文で

Thank you! By the way, where should I visit in your town?

条件

(1)英語3文で書く

(2)場所の名前+説明+そこでできること

3文(場所→説明→できること)

課題3(40点) 25語以上のまとまった英文で

I want to try something Japanese during my stay. What should I try?

条件

(1)25語以上の英語で書く(3文以上)

(2)すすめるもの1つ+説明や理由

25語以上(語数を数えて右に記入 → 語)

英語教材ラボ <https://eigo-kyozai-lab.vercel.app>

書き終えたら次のページのチェックリストで自己採点

採点のしかた 書いた英文を1回音読してから、観点を1つずつ○×でチェック。○になった観点の点数を合計しよう。判断に迷ったら、次のページの模範解答と見くらべて決めてよい。スペルや語順のまちがいに自分で気づけたら、それはもう半分できたのと同じ。

課題1のチェック(30点)

✓	観点(自分の英文を1つずつ確かめる)	配点
☐	地図のとおりの道順(まっすぐ→2つ目の角を左)が英語になっている	10点
☐	「右側に見えます」で締められている	10点
☐	2文とも「動詞から始まる指示の文」または「主語＋動詞」の形	10点

課題2のチェック(30点)

✓	観点(自分の英文を1つずつ確かめる)	配点
☐	場所を1つ選んで、最初の文ですすめている	10点
☐	その場所の説明(有名なもの・様子)がある	10点
☐	「そこでできること」の文がある	10点

課題3のチェック(40点)

✓	観点(自分の英文を1つずつ確かめる)	配点
☐	すすめるものを1つ選び、最初の文で明確に書けている	10点
☐	説明・理由・できることが続いている	10点
☐	25語以上ある(数えて記入した)	10点
☐	全体が3文以上のまとまりになっている	10点

とき終わったら かかった時間(分 秒)→ 合計(/100点) 次のページの模範解答は「暗記する」ではなく「自分の英文と何がちがうか」を1か所だけ見つけて直すのがいちばん伸びる。

課題1 模範解答と組み立て方

模範解答1(基本形)

Go straight along this street and turn left at the second corner. You will see the post office on your right.

この通りをまっすぐ行って、2つ目の角を左です。右側に郵便局が見えます。

模範解答2(目印プラス形)

Walk straight for two blocks and turn left. The post office is on your right, next to the bank.

2ブロックまっすぐ歩いて左へ。郵便局は右側、銀行のとなりです。

組み立ての手順 道案内は「動く指示(Go / Turn)→見える結果(You will see ~)」の2文セット。数字(second corner / two blocks)を入れると一気に正確になる。

よくあるミス(自分の英文にないかチェック)

×こう書きがち	○直すと	なぜ
Turn to left.	Turn left.	left / right の前に to は不要
Go to straight.	Go straight.	straight は副詞——to をはさまない
You can see it right.	You can see it on your right.	「右側に」は on your right

課題2 模範解答と組み立て方

模範解答1(自然パターン)

You should visit Aoba Park. It is famous for its cherry blossoms in spring. You can enjoy a picnic under the trees.

アオバ公園がおすすめ。春の桜で有名です。木の下でピクニックが楽しめます。

模範解答2(食・くらしパターン)

Please visit the morning market near the station. Local people sell fresh vegetables and fish there. You can also try famous egg sandwiches.

駅近くの朝市へどうぞ。地元の人が新鮮な野菜や魚を売っています。名物のたまごサンドも食べられます。

組み立ての手順 「①You should visit ~. ②It is famous for ~. ③You can ~.」——おすすめの3文型。②の説明が思いつかないときは「いつ行くのがいいか」(in spring / in the morning)に置きかえてもよい。

よくあるミス(自分の英文にないかチェック)

×こう書きがち	○直すと	なぜ
I recommend you to go.	You should visit ~.	中学の型で言えるものは中学の型で——should が一番安全
It is famous cherry blossoms.	It is famous for its cherry blossoms.	「~で有名」は famous for ~
You can enjoy to eat.	You can enjoy eating.	enjoy のあとは動名詞(~ing)

課題3 模範解答と組み立て方

模範解答1(文化体験パターン)

You should try shodo, Japanese calligraphy. You can write kanji with a brush and take your work home as a present. My school has a calligraphy club, so please join us.

書道がおすすめ。筆で漢字を書いて、作品をおみやげに持ち帰れます。うちの学校には書道部があるので、ぜひ参加を。(31語)

模範解答2(食べ物パターン)

Please try onigiri, Japanese rice balls. They are cheap and delicious, and you can find many kinds at convenience stores. My favorite is the salmon one.

おにぎりをぜひ。安くておいしくて、コンビニで色々な種類が見つかります。私のお気に入りのはさけ。(26語)

組み立ての手順 日本語のものを英語で説明するときは<ローマ字+説明の同格>——shodo, Japanese calligraphy / onigiri, Japanese rice balls. 第1文ですすめる→第2文で説明→第3文で自分とのつながり(My favorite / My school has ~)。

よくあるミス(自分の英文にないかチェック)

×こう書きがち	○直すと	なぜ
You should try 書道.	You should try shodo, Japanese calligraphy.	日本語のものはローマ字+英語の説明をセットで
It is delicious and cheap and famous and...	It is cheap and delicious.	and のつなぎすぎは2つまで
My favorite is salmon one.	My favorite is the salmon one.	「その~のやつ」は the +形容詞+one

表現バンク——次の英作文でそのまま使える

Go straight and turn left at ~.	まっすぐ行って~で左折
on your right / left	右側/左側に
You should visit ~.	~に行くといいですよ
It is famous for ~.	~で有名です
~, Japanese	~(日本の...です)=ローマ字+説明

もう一段のぼる 「ローマ字+説明の同格」は、日本文化を英語で語る最強の武器(入試の自由英作文でも使える)。No.3はお礼のメール——「気持ちを伝える」英作文へ。

先生向け・運用ノート チャレンジ欄・ALTとの授業前に最適(20分+自己採点10分)。task3は実際の町の名所に置きかえて再利用できる——地域教材化の入口として。